

JARL

香川クラブ報

No. 375 平成23年2月15日



忘年会 2010 年 12 月 25 日「ぜにや」にて

J A 5 Y D E

通常総会のご案内

寒い日が続きましたが如何お過ごしでしょうか。又風邪など引かずに無線活動等頑張っているでしょうか。

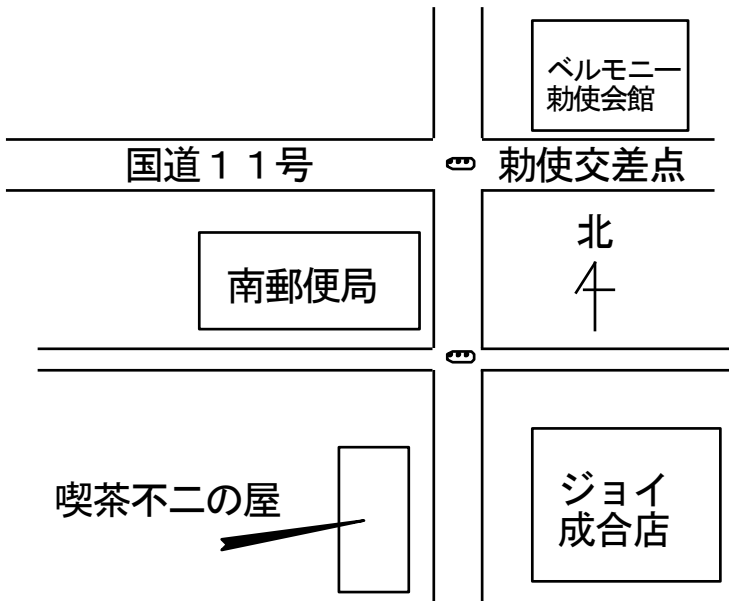
当局の玄関では、鉢植えの花梅がピンクの花を沢山に咲かせています。春の香りが寒い中、忘れずに早来しています。

当クラブも年間の行事が終わり、行事・会計報告、新しい行事等の打ち合わせ等致したく、通常総会を下記の通り開催致します。

お忙しいとは思いますが多数のご出席お願い申し上げます。

記

- 日時： 平成23年3月20日（日） 13時より
場所： 成合町 喫茶不二の屋
議題： 1. 22年度行事・会計報告。
2. 役員改選。
3. 23年度行事・予算案。
4. ARDF全国大会について。
5. その他。



忘年会

「いらっしやいませ。お席は御二階になっております。」と女将の一声。いつもの忘年会とちょっと違った雰囲気、2階に上がるとこじんまりとした座敷に通された。座敷には長く一列にのびた宴席が並べられている。



毎年恒例の忘年会が、12月25日（土）に市内瓦町日本料理「ぜにや」にて開催されました。今回は定番の居酒屋からステップアップをして割烹での開催です。いつもながら宴席探しはJH5EZB 三木OMとJE5PBO 岡田OMにお願いをしており、今回も下見を兼ねながらこの場所を探したようです。営業マン以上の二人の顔の広さには脱帽します。

宴会に先だって三好会長から記念局運用の終了と交信局数の発表、そして運用に携わったクラブ員に謝意が述べられました。また、今年の10月に行われた全日本ARDF競技大会運営の協力要請があり、参加者一同が賛同をしました。

JA5MG 稲毛OMからは11月大阪府寝屋川市で開催されたJARL臨時総会が皆様方のおかげをもって各議案（定款等改正案）が無事可決承認されたと報告がありました。

乾杯後、鍋を突きつつビールやお酒の注文に精を出す。お酒の爛が間に合わず、困惑する仲居さんを尻目に、またお酒の注文を出す。こんな光景、何年か前の忘年会でもあったような気がする。時間が経つにつれ盃とお銚子を持ち、各自の席を廻りお酒を勧める者、記念局談義をする者それぞれ。膝と膝をつき合わせて話が出る日本独特のお座敷って本当にいいものですね。

今回から出席したJA5UVT 詫間OMや長きにわたり勤務した「松山」から放免され、香川に戻ってきたJA5TOP 平賀OMの出席で例年以上にいろいろな話題で盛り上がり、2時間があっという間に過ぎ去りました。

若者向けの賑やかな居酒屋より、小声で静かに話せる場所を求めるのは皆が歳をとったせいでしょうか。来年の忘年会会場がどんな場所か、今からわくわくします。



**<参加者>JA5MG・JA5AHM・JA5IJL・JA5TFJ・JA5TOP・JA5UVT・JH5EZB・JH5LYW・JH5PMZ
JE5BYS・JE5PBO・JF5ICA・JG5OBX・JI5XTP 14名**

高松市市制施行 120 周年記念

特別局「8 J 5 T A」

高松市趣味協会創立 30 周年記念

会長 JH5LYW

報告が大変遅くなりましたが、高松市市制施行 120 周年および高松市趣味協会創立 30 周年記念局「8 J 5 T A」の運用が、昨年 10 月 2 日に三谷町にあるクラブシャックで開局式の後運用を開始し、11 月 30 日に 2 ヶ月のロングランを締めくくり、無事運用を終了いたしました。

期間中はコンディションに恵まれず、特にハイバンドが不調の中、会員各位のご協力により当初の交信目標（3,000 局）を大幅に上回り、国内はもとより世界中にサービスすることができました。

今回は、紙のログ帳を廻す方式をとらず電子ログでの集計でしたので、どうしても集計が遅れ気味となり、何とか 5,120 局にチャレンジしたかったのですが、あと少しで届かなかったのが残念と言えばそうですが、トータル 4,987 局と交信することができ大成功であったかと思います。

運用いただいた各局、お声がけをいただいた各局本当にありがとうございました。

Q S L カードについて、途中二転三転し、クラブ報で紹介したものとは異なるものとなりましたが、いろいろな問題があり今回の写真に落ち着きました。

何とか、高松を象徴できるような写真（篠田氏撮影）が手に入りほっとしています。

挿入する写真が遅れたため、Q S L カードの完成が大幅にずれ込みましたが、JE5PBO 岡田 OM の尽力により、記念局の Q S L 発行期限ギリギリではありますが何とか 1 月中に印刷・発行にこぎつけるところまでできました。



クラブ報が発行される頃は、すべての手続きが終了していることと思います。

記念局の運用は何かと面倒ではありますが、達成したときの充実感、個人局では味わえないものがあるように思います。

ところで今年は、「全日本 ARDF 競技大会」が香川県内で開催されることが決定しており、会員各局にはまたいろいろとお世話になると思いますが、更なるご協力をお願いいたします。

また、大会にあわせて「8 J 5 ARDF（仮称）」も運用されます。
 今回の「8 J 5 T A」同様、運用・交信にご協力をお願いします。

8 J 5 T A（高松市制120周年記念・高松趣味協会創立30周年記念局）							
運用記録表（2010. 10. 2～2010. 11. 30）							
運用日別集計				エリア別集計		バンド別集計	
運用日	局数	運用日	局数	エリア	局数	バンド	局数
10月2日	357	11月1日	107	1	1,495	1.9	244
10月3日	189	11月2日	58	2	690	3.5	1,391
10月4日	99	11月3日	205	3	640	7	2,970
10月5日	83	11月4日	58	4	407	10	274
10月6日	101	11月5日	88	5	319	14	18
10月7日	60	11月6日	95	6	430	18	22
10月8日	103	11月7日	23	7	353	21	7
10月9日	374	11月8日	31	8	176	24	2
10月10日	24	11月9日	72	9	131	28	3
10月11日	323	11月10日	67	0	264	50	9
10月12日	62	11月11日	27	DX	82	144	22
10月13日	62	11月12日	57	合計	4,987	430	22
10月14日	42	11月13日	133			1200	3
10月15日	94	11月14日	122			合計	4,987
10月16日	29	11月17日	5				
10月17日	188	11月22日	107				
10月18日	101	11月23日	82				
10月19日	49	11月24日	7				
10月20日	65	11月25日	107	モード別集計		運用者別集計	
10月21日	5	11月27日	121	モード	局数	運用者	局数
10月22日	11	11月28日	119	CW	2,794	JH5EZB	1,667
10月24日	52	11月29日	174	SSB	2,154	JI5XTP	1,309
10月26日	129	11月30日	181	FM	39	JH5LYW	1,247
10月27日	91	小計	2,046	合計	4,987	JA5TFJ	609
10月28日	121	総合計	4,987			JE5CIL	87
10月29日	52					JE5PBO	52
10月30日	75					JA5IJL	16
小計	2,941					合計	4,987

今後とも、クラブのますますのアクティビティ向上のため、会員各位にはご協力をあらためてお願いいたします。

木炭車

横田壽夫

今や、自動車はハイブリット車、新幹線もリニアカーの採用など、スピード化と環境保全の観点から、エコやハイテク駆使の高速で快適な乗り物が、売りものの時代となった。

半世紀前の、黒煙を吐いて、力強く走った石炭列車で、ゆっくりと車窓に映る溪谷を眺めながら、弁当を開いて旅を楽しんだ列車も今では、蒸気機関車などと共に、写真で見えるくらいとなってしまった。

先日、古民家が軒を連ねた街の中を「ボンネットバスが走る」風景が某テレビ系で放映されていたが、その映像を見ているうちに、つい五十数年前の記憶がよみがえってきた。

戦後の物資不足の時代であった、昭和二十年後半、国鉄には「省営バス」が走っていたが、私が毎日通学に利用したのは、地元電鉄会社が運営する「琴参バス」であった。

このバスは三豊市詫間町のＪＲ詫間駅から浦島太郎伝説の地、詫間町大浜への路線バスである。

バスが、途中海岸線を走り、山肌に沿って上り坂が何カ所があるうちのひとつ、昔の海軍航空隊跡、今の香川高専詫間キャンパス手前の坂、俗称「香田（こうだ）の坂」にさしかかると、突然、女性の車掌が、「みなさん、誠に恐れ入りますが、元気な方は、お降りになってバスの後ろに、お回り下さい！」と声高に言うのだが、乗客は誰も「エッ何事？」と驚く人もおらず、老人を残して殆どの方が下車してバスの後ろに回ると、再び車掌が大きい声で「ハイみなさん、いいですか、力を合わせて一、二いの、三」と。

勿論、私も力一杯、一生懸命バスを押した
グルッ　グルッ　グーンとバスは動き出した
のろのろながら坂を上ったところで、車掌がまた、「みなさんありがとうございました。
バスにご乗車下さい」「発車オーライ」バスは何事もなかったかのように走り始めた。

今ではうその様な話だが、これは本当のことなのである。



このバスは、ボンネット型であるほか、車体後部に、大きな円筒形のガスタンクを搭載していた。

当時は燃料の油脂不足のため、檜や橡（くぬぎ）の薪を焚いてガスを作り、これでエンジンを動かしていたのである。

時に、このガス不足がバスの力不足となり多くの乗客の重さと相まって、途中の坂道で後押しの要請を余儀なくされたのである。

バスが出発前、車庫で車掌が、後のタンクの蓋を開け、小さく切った薪を入れ、長い鉄の棒で薪をかき混ぜながら、一杯詰め込み、もくもくと煙が立ち出すと、濡れ雑巾の

パッキンを被せて蓋をする。

車掌が手廻し送風機で、タンクに空気を送り込み、ガスの発生を待つのだが、女性の車掌を助けて、よくこの送風機廻しを手伝ったのも、つい昨日のことに思い出す。

これが昭和時代の重要な交通機関でもあった、懐かしい木炭バスの思い出である。

[撰者の評]

燃料タンクの構造、乗客の様子など細かく観察してうまい。

こんなことを書き残しておくことも大事。

木炭車は平成22年12月27日(月)の四国新聞「読者文芸」の随筆欄で12月のテーマ「乗り物」に横田OMが投稿し掲載されました。お読みになった方もおられると思いますが、当時の木炭バスを知らない私でも目をつむれば、一生懸命に木炭バスを押してる若き横田OMや乗客の姿が浮かんできます。

ARDFとランニング

JH5LYW

平成7年9月10日高知県土佐郡土佐町において第6回四国地方ARDF競技大会が開催された。

思えば、それが私のハム人生とマラソン人生の新たな出発点であったと思う。

職場のうら若いお嬢さん二人。「こんな競技があるんだよ」とARDFを紹介したところ「ぜひ参加したい」と懇願され、当時は大して興味の無かったARDF大会に連れて行くことになった。当初は、保護者ぐらいの気持ちでいたが、どうせ行くなら自分も参加しなくてはと思い大会の参加を申し込んだ。

当日、軽やかに走る彼女たちを目の当たりにし、自分の体力・気力の無さに愕然とし反省した。とは言え、彼女たちに即発され一念発起したお陰で、OT クラス選抜1位(総合2位)となり、全国大会に推薦されることになった。全国大会の会場は、北海道恵庭市野幌自然公園。選抜されながら無様な成績では申し訳ないと、翌日の11日から禁煙。とにかく歩いた。

香川からの参加の各局としっかり北海道を楽しみ、すっかりARDFの虜になった。

翌年、正月からARDFのためにジョギングを開始。せつかく走るのなら少しでも早く走ろう、いろいろな大会に参加したいと、従来の競争心に火がつき、香川県内で開催されるマラソン大会に片っ端しかから参加した。

平成9年から丸亀ハーフマラソン10kmの部に参加し、秋には小豆島のタートルフルマラソンに参加。3時間48分58秒と、マラソン初参加で4時間を切



る（俗に言うサブ4）ことが出来た。

その後、平成10年からはオリブマラソンや丸亀などでハーフマラソンにチャレンジしている。

ARDFの練習のために始めたウォーキングが、ジョギングとなり、ランニングとなり、ランナーへと移り変わり現在に至っている。

しかし、何ごとでも一緒だろうが無理は禁物で、「過ぎたるは及ばざるがごとし」かなりの運動量をこなしていたある日、原因不明の貧血を患い運動の出来ない状態が一年以上も続き、気持ちが折れそうになったが、無線とARDFがそんな気持ちを支えてくれ、やがて回復することが出来た。

今は、当時の反省を生かしてと言い訳をしながら、適度にランニングを楽しんでいる。今年も、丸亀ハーフマラソンに参加し1時間41分36秒（自己記録1時間30分33秒）。Qちゃん（高橋尚子さん）と土器川橋でハイタッチができ、60歳台では32位。タイム的には大いに不満ではあるが、練習量を考えると納得せざるを得ない。

今年参加の最高齢完走者は80歳とか。まだ、その歳まで20年ある。

3歳年上の間寛平氏がアースマラソンのギネス記録を作った。

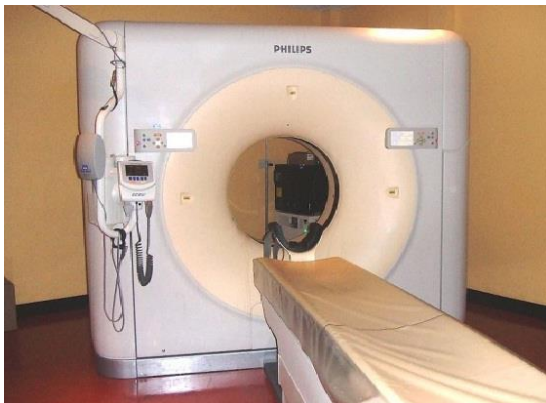
自分にいったい何が出来んだろうか？

小さいことにくよくよせず、自分の足跡をしっかりと刻んでいきたいと思う。

ハイテク派それともローテク派

J I 5 X T P

仕事が一段落したコマーシャル現場で自動販売機のコーヒーを買い一服。横の机をみると円筒形の器具があった。最新式の血圧測定器だ。作業服の袖をまくり円筒形の中に腕を奥深く差し込みスイッチを入れると、ウィーンと音がして円筒形の中が膨らんできて腕を締め付ける。1分もたたないうちにプューと排気音がして圧迫感から解放される。血圧測定器の表示部にデジタル数値が交互に表示される。最高血圧151、最低血圧87、脈拍67である。思えば半年前の健康診断では最高血圧132、最低血圧80だったので今回は相当上昇しているように思える。と同時に頭をよぎったのが脳溢血で不自由な生活を送っていた、今は亡き親父の姿だった。数日後、脳の血管を検査するため脳外科に行った。30歳位の女医が担当をしてくれた。これまでのいきさつを説明すると、問診をするでも触診するでも無しに看護師にすぐCTをとるようにと指示をしている。



CTで脳の血管が映るのかいなあと思いつつアーチの中に頭を入れていた。10分もすると「ハイ、終わりました。待合室でお待ちください」と技師に言われた。待合室で待つこと20分「坂内さ～ん、1番診察にお入りください」とアナウンスをされた。診察室に入ると女医の前のスクリーンに撮影された画像が張られていた。開口一番「見た限りでは脳に異常は見当たりません」と女医。「血管は」と問うと「血管の撮影はMRIで検査しなければわかりません」と返答がかえってきた。おおい、

最初に言っただろう。調べてほしいのは血管だと言いかけたが言葉を呑み込んだ。

次の日、内科医院に行き70歳位の先生の前に座り脳外科で言ったことと同じ事を言った。先生は服をまくり上げ胸と背中に聴診器をあてていた。そして、左腕をまくり上げ血圧測定用のバンドを巻きつけ、昔夜店で売っていた蛙のおもちゃに付いていたようなポンプで、シュボシュボと空気をバンドに送った。聴診器を手首にあてて血流か脈拍の音を聞きながらポンプを押している。ある程度圧力が上がると再度聴診器を同じ場所にあてて、神妙な顔で音に聞き入っている。プシューーンと音がして圧が下がったのでバンドをとり、私の方に向き「血圧は141と80で年をとるとコレステロールや中性脂肪が多くなるから血圧も上がりますよ。あまり心配しなくても良いですよ」と言い「心配なら血圧を下げる薬を処方しましょうか」と言ったので処方してもらうことにした。「毎日、血圧測定をして薬が切れたら来てください。ついでにコレステロールなどの検査に血液も調べておきます」と言われ血液を採取され診察が終了した。



私の仕事も同様で空調機や冷凍機の修理をするとき、一昔前は機械の運転音や振動を手で触って感じ取ったり、各部の配管の温度などを測定して故障判断して修理をしたのだが、今は殆どの機器に搭載されているマイコン基盤のセンサーが各部の温度や圧力を測定して、ここが悪いですよと自己診断してくれるのである。今は工具の代わりにパソコンを持って行って修理をするのである。

また無線機器も同じである。2コールの殆どのOMさんは無線機を自作して簡単な測定器と経験で苦労をして電波を出していたようだが、今は機能の多い無線機が支流でスイッチを入れると何の調整もせず、すぐ電波を出すことが出来る。無線機とパソコンをつなげば電鍵をたたかなくてもモールス符号を送れるハイテク機器。無線機の機能が多い故に無線機を使いこなせないアマチュア無線家も少なくない。私もその一人だ。

見目で判断をしてはいけませんが、若い女医は問診や触診をせず最新医療機器で機械的な数値読み取り診断をしたハイテク診察。昔ながらの問診と触診で診察をした老先生のローテク診察。双方とも技術と経験で一生懸命に診察をしているのだが、何故か私には後者の診察が心地よかった。

ARDF競技大会・練習会のご案内

日時	大会名	場所	申込先	締切り
2月20日	練習会	吉野川市川島町		随時
3月 6日	北宇和	北宇和郡鬼北町		2月26日
3月13日	中国地方	岡山県井原市		2月28日
3月20日	練習会	未定		随時
3月27日	呉Oクラブ	呉市野呂山		3月20日
5月22日	四国地方	徳島県	未発表	
9月23日	Reg 3	オーストラリア		
10月30日	全日本	香川県東部	未発表	

準備の都合上、各大会の参加・不参加をJ A 5 U V T 詫間OMに早めに連絡してください。

香川マラソンコンテスト集計票

今回は初参加のJA5IJL林OMはじめクラブ員8名がスケジュールを組んでマラソンコンテストに参加をし、各バンド・各モードでアクティブに運用しました。

2010香川マラソンコンテスト集計票						
日付	交信数	区 分				
		バンド	局数	地域マルチ	モード	局数
1日	12					
2日	7	1.9	10	7	CW	43
3日	8	3.5	13	8		
4日	13	7	23	10		
5日	9	14	16	7		
6日	47	21	27	9	SSB	100
7日	33	28	25	9		
8日	30	50	24	9		
9日	16	144	59	12		
10日	7	430	67	14	FM	131
11日	18	1200	10	6		
12日	25	交信局数	地域マルチ	日数で分		
13日	15	合計 245 × (91 + 15) = 25,970点				
14日	22	(総交信局数274局、県外局とダブリを除く有効交信局数245局)				
15日	12	OP:JA5AHM/JA5IJL/JA5TFJ/JH5EZB/JH5LYW/JH5PMZ/JG5OBX/JI5XTP				
参考		2003年 11,859点、2004年 17,408点、2005年 33,852点、2006年 20,202点 2007年 28,700点、2008年 29,425点、2009年 32,207点				

各コンテストの個人成績表

香川マラソンコンテスト結果			
* 社団局マルチバンドマルチモードの部			
2 位	JA5YDE	25,864 点	15 日
* 個人局マルチバンドマルチモードの部			
3 位	JI5XTP	19,575 点	15 日
4 位	JH5LYW	9,177 点	15 日
11 位	JA5MG	9 点	1 日
* 14MHz電話の部			
1 位	JA5AHM	6 点	2 日
* 50MHz電信の部			
1 位	JH5EZB	576 点	13 日
* 50MHz電話の部			
1 位	JA5TFJ	1,853 点	15 日
* 430MHz電話の部			
4 位	JI5SAO/5	1,232 点	15 日
7 位	JA5UVT	336 点	12 日

オールJA5コンテスト結果		
op: JH5LYW		
* 電信 社団局の部		
1 位	JA5YDE	14,025 点
* 電信電話 7MHzの部		
3 位	JA5TFJ	4,223 点
6 位	JA5MG	4 点
* 電信電話 430MHzの部		
3 位	JI5SAO	18 点
* 電信 マルチバンドの部		
1 位	JI5XTP	32,634 点
* 電信 3.5MHzの部		
2 位	JH5LYW	1,784 点

JARL 香川県支部ホームページに参加者の結果が出ていたので掲載しました。

詳しくはホームページをご覧ください。

ハムフェスティバル in 香川

J A R L 香川県支部主催で『ハムフェスティバル in 香川』が下記のとおり開催されます。年に一度の県内ハムの祭典です。ローカル各局お誘い合わせ上、多数御参加下さいますようご案内申し上げます。

また『自作品展示』は当日会場まで持参ください。

記

日 時 平成 23 年 3 月 13 日 (日) 13 時～16 時
(但し受付は 11 時～13 時 30 分迄)

会 場 丸亀市綾歌総合文化会館
愛称『アイレックス』 (昨年と同じ会場)
国道 32 号線 綾歌市民総合センター南側
琴電・琴平線 栗熊駅下車 徒歩 約 10 分
駐車場 会場南側 (無料)

催 物 自作品展示、ジャンク市、メーカー展、
クラブ紹介等のブース (当日受付)
各種コンテスト表彰、お楽しみ抽選会

■ 北宇和 A R D F 競技大会に参加しましょう！

今年は 10 月 29・30 日に全国 A R D F 競技大会が香川県で開催されます。北宇和 A R D F 競技大会に練習として参加してみませんか。

記

- ・日時：平成 23 年 3 月 6 日 (日) 09:00～09:30 受付、10:30 競技開始 (雨天決行)
- ・集合場所：愛媛県北宇和郡鬼北町 (詳細は参加者に後日連絡)
- ・参加クラス 男性：M19・M21・M40・M50・M60、女性：W19・W21・W50
- ・使用周波数：145MHz 帯 (当日指定) 電波型式：A2A
- ・参加費：1,500 円 ※大人・年少者とも同額
- ・申込方法：氏名、コールサイン、参加クラス、生年月日、郵便番号、住所、電話番号、
弁当の要/不要を記入した申込書と 80 円切手貼付の SASE および定額小為替
を同封して下記宛て先まで。ゆうちょ銀行口座をお持ちの方は ATM での送金も可能
- ・申込先：〒798-1302 北宇和郡鬼北町下大野 1810 松浦孝行
- ・振込先：記号 16170 番号 1308081 名義 松浦 孝行 (まつうら たかゆき)
参加申込書の空欄に「ゆうちょ銀行口座へ送金」と記入してください。
- ・締切：平成 23 年 2 月 26 日 (土) 必着



編集からのお願い



年 6 回発行されるクラブ報の到着を楽しみにされているクラブ員も大勢おられると思いますが、編集にあたりいつも苦勞するのが掲載する原稿がないことです。このままでは長年継続されてきたクラブ報が案内と報告だけの味気ないものになってしまいます。クラブ報を愛するなら、私たちと一緒におもしろく充実したクラブ報を作りませんか。そのためにもクラブ員の皆様から寄稿される原稿が不可欠になります。皆様方の近況報告でもかまいませんので是非投稿してください。

クラブ報の原稿大募集！！

身近な出来事、旅行記、自身のハムライフ、掲載要望などジャンルは問いません。原稿はメール、郵送、引取他、ご一報を頂ければご連絡をいたします。

連絡先：事務局 E-mail：

まで

JARL香川クラブでは、会員サービスのために無線局免許状の期限切れについてお知らせをしていますが、免許状記載事項に変更があったり、新たに無線局免許状を取得した方は、その都度お知らせくださいますようお願いいたします。

将来のインターネットサービスに対応して、現在「電子メールアドレス」を取得している方は、差し支えなければ連絡下さい。

前年度までの会費が未納の方は早急に納入をお願いします。
また、平成22年度会費につきましても早急に納入をお願いします。

JARL香川クラブ報

発行責任者	JH5LYW	三好	伸幸
編集者	JA5TFJ	横田	寿夫
	JH5WMN	山口	博司
	JI5XTP	坂内	信洋